

海遊び安全講座 実施報告書

平成 28 年 1 月 27 日

報告者 特定非営利活動法人 くすの木自然館

鶴本幸子

イベント名：夏休み毎日プログラム（主催事業として）

開催日：平成 28 年 8 月 10 日 天候：晴れ

開催地：重富海岸海水浴場内（霧島錦江湾国立公園）

対象：くすの木自然館スタッフ（4 名）、鹿児島県理科教員職場研修（3 名）

参加者数：7 名

指導者名：鶴本幸子

使用教材：CNAC 海あそび安全講座冊子・PDF ファイル

実施内容及び所感

- 主な活動内容 ・PDF ファイル「海あそび安全講座」を用いた危険予知トレーニング
 - ・干潟観察
 - ・ペットボトルレスキュー体験
 - ・SUP 体験

○所感 まず CNAC の海遊び安全講座 PDF データを用いて、紙芝居風に危険予知トレーニングを行った。磯・砂浜・港で起こりうる危険をそれぞれ予知してもらい、私たちがいつも活動するフィールド（干潟）で起こりうる危険予知トレーニングも行った。

干潟で起こる危険性は、今まで観察会をする際に参加者に呼びかけてきたことだが更に注意を払い、参加者にも促していきたいと思う。

また、体験活動として SUP 体験を行った。私たちは干潟で活動することが殆どだが SUP を用いるのは初めての体験だった。今夏よりレンタルを開始したこともあり、身近なもので出来るレスキューについてはスタッフ全員で取り組んで行きたい。

干潟で起こりうる危険

- ・目を遮るものがないので、熱中症に気を付けること。（帽子・タオルの必要性）
- ・干潟に出れば足元には、巻貝が沢山いるので裸足で歩けば怪我をする恐れがある。歩く際にはマリンシューズ、もしくは長靴を着用すること。
 - ※ビーチサンダルは脱げてしまう恐れがあり、不可
- ・重富の干潟には危険な生き物に注意。アカエイ、ウミケムシ、クラゲなど。

○写真

